

1	農産物直販事業
・平成 23 年産米 合計で 8810.4 kg を販売しました。 ・平成 24 年産米 3 月末時点で発送済みと予約分を合わせて 7272.45kg となっております。 また、これとは別に 90 俵を若米会の「限界集落支援プロジェクト（郷プロジェクト）」に出荷いたしました。若米会とは「次世代へお米文化を継承し創造する」を理念として、全国各地のおコメに携わる若者達（生産者、小売店、飲食、機械、袋、コメ卸、食品卸と様々な立場の人たち）が集う会です。 山清水米単品だけでの販売以外にもお歳暮等のギフトセットを作り、販売を開始しました。 平成 24 年度産の農薬化学肥料不使用はざかけ米は個人のお客以外にも香川県の米屋「溝口食糧」で取り扱っていただく事にもなり、11 月の時点で完売となりました。 出張販売は 5 回行いました。4 月 21～22 日の「アースデー東京」、10 月 7 日の「食育フェア」、10 月 14 日の「生誕地祭り」、10 月 13～14 日の「G T F グリーンチャレンジデー」、12 月 13～15 日の「エコプロダクツ」にそれぞれ参加しました。 加工品の販売に関しては十日町市内の関口製菓さんに協力頂き、委託加工で「米粉ドーナツ」を制作してテスト販売を実施しました。エコプロダクツの出張の際に販売し、200 個 全て完売しました。食べた方の感想も好評でした。 冬の間の農作業が出来ない時期には平成 25 年度から集落共同で組織的に畑作を行うための準備を重ね、ジャガイモ、枝豆、サツマイモを作付けする事が決まりました。また、この流れで同じく平成 25 年度から山菜の直接販売も実施する事が決まりました。 その他、ネットショップでの決済方法変更を検討しましたが、結局平成 24 年度は決済方法の変更は致しませんでした。	
2	体験交流事業
FedEx 様、JEN 様 と共催する「田んぼへ行こう!!」（3 回実施）は、2012 年度で 5 年目になりました。本年は、飛渡（とびたり）地域（池谷集落含む 14 集落からなる地域）の方たちと協力し、アート田んぼにも挑戦しました。アート田んぼの田植えは地元の新聞にも大きくとりあげていただきました。秋には「I♡お米」の文字が、見事に浮かび上がりました。 今年度から新しく始めた、田舎暮らし体験イベント「山村へ行こう!」（4 回実施）では、山菜採り・まき割り・盆踊り・冬支度と、四季折々の池谷・入山を満喫していただきました。 3 年目の豪雪となった今冬も「スノーバスターズ」（3 回実施）を開催し、雪堀を体験していただくと同時に、さいのかみ（どんど焼き）・かまくらづくり・十日町市雪まつりの雪像見学など、冬ならではの体験を楽しんでいただきました。また、5 年目となり中越防災フロンティア様との共催「越後雪かき道場」も行いました。 他に「ヨガでリフレッシュ in 池谷」、収穫祭にも多くの方にお越しいただき、昨年度の集落の交流人口はのべ 939 名 となりました。	
3	移住促進事業
・インターン受入 「山の暮らしインターン」（実施：中越防災安全推進機構）と「にいがたで『暮らす・働く』応援プロ	

ジェクト事業」(実施：新潟県)の2つのプログラムで、インターン生を募集しました。今年度は「にいがたで『暮らす・働く』～事業」を通じて、3月に1名1ヶ月のインターン生を受け入れました。 池谷集落以外の十日町市内でインターン生を受け入れたい集落の募集・調整も行いましたが、残念ながら受入までには至りませんでした。 ・住宅建設 集落住民や移住者用の集合住宅の検討会を行いました。予算や土地の都合などで集合住宅は見送りになりました。2013年度は、移住者用簡易住宅の建設を検討しております。 ・移住促進基盤整備事業受託の準備 2013年度から十日町市からの委託を受けることになったため、準備を進めました。2013年から、ウェブサイト「さとナビー十日町にいたい人・住みたい人のナビサイト」の運営を中心に、十日町市内全域を対象として移住促進の取組も行います。	
4	情報発信・農山漁村応援事業
4-1	情報発信
新潟県内、県外各地から16組153名の方が視察に訪れてくださいました。また、こちらから出向いての講演活動も14回、2誌に寄稿をいたしました。実行委員会の活動が全国の過疎地域の参考にしていただければと取り組んでいます。	
4-2	農山漁村応援
飛渡地域の「やまの直売所」の運営支援を行いました。品質の管理、店番、所事務作業に中心に関わり、飛渡地域の他集落の農家の方とのつながりを増やすことができました。 また、東北応援企画として石巻産海苔381セット、池谷の「やまたまご」「やまたまご烏骨鶏」37セット、地元企業「高長醸造場」の漬物72セット、民宿かくらの「年越しそば」43セットを販売いたしました。	
5	分校維持管理事業
池谷分校にて、効率的な事務作業をするためフレッツ光の移設、サーバーなど整備を行いました。また、倉庫として利用していた味噌蔵を事務所に改修しました。 また、池谷分校を実行委員会会員、または会員の同行者に限定して利用可能であること、維持管理のために1口500円の寄付金を募ることを決定しました。	
6	管理部門
6-1	受賞
・あしたのまち・くらしづくり活動賞内閣官房長官賞 受賞 11月に、あしたのまち・くらしづくり活動賞内閣内閣官房長官賞を受賞いたしました。外部からの支援を受けながら意識を変えて、震災復興からの地域おこしに取り組み、全国の消滅の危機にある集落のモデルとなる取り組みをしていること、とくに外部からの人材も後継者として積極的に受け入れていることが評価されました。	
6-2	その他

・牛飼育の終了

2010 年より 2 頭のメス牛（さつき・みすず）、2011 年 9 月にはメスの子牛（めい）がうまれましたが、2011 年内にメス牛 2 頭を出荷、2012 年 6 月には子牛を出荷しました。2012 年度で牛の飼育は終了し、牛小屋は作業小屋に改修し利用しています。

・投雪機の導入

十日町市から 200 万円の補助金を受け、投雪機を導入いたしました。集落の家屋、集会所、池谷分校などの除雪に利用しています。

・「里山プロジェクト」の準備

2013 年度から新潟県中越大震災復興基金を財源とし、十日町市から委託を受けて「里山プロジェクト」を始動するため、総務・人事の点において準備を進めました。